

岩泉町の名は知っていましたが昭島市と「友好都市」となったのでどんな町なのかを知りたくて今回の事業に参加しました。

参加する前に岩泉町の概要を調べたところ面積が昭島市のなんと57倍の広大な広さの中に人口は以前より減って約9千7百人と過疎化が進んでいる町であることを知りました。

まず盛岡駅からバスで2時間の距離があり遠いと感じました。そして森林に囲まれた中に集落が点在していました。案内してくれた町の職員の話でも高齢化と過疎化が進んでいるとのことでした。それでも排気ガスの臭いもなくおいしい空気ときれいな水に恵まれている岩泉は時間がゆっくりと流れているように感じたのでもう少し長く滞在できたら良かったと思いました。

早坂高原で行われた「育樹祭」では大鎌での下草刈り作業で気持ち良い汗をかいた後木陰でおにぎりを食べながら地元の方と交流ができました。

その中に年配のご夫妻がおられて孫が「小学生国内交流事業」に参加して昭島に行ったことや昭島の子ども達を受け入れたことがあると話してくれました。お孫さんは既に成人となり岩泉を出ているとのことでしたが子ども達がお互いに現在も交流が続いているといいなと思いました。

この事業の印象は2回目と日が浅いので今後に向けて改善が必要だと感じました。

この事業は「友好都市交流事業」ですからもっと町の人たちとの交流ができる要素が欲しいと思います。「下草刈り作業」では町の人たちのグループに混ざって作業をしたり昼食は町の人たちの中に入ってお話をしたりとこちらから積極的に交流を図る姿勢も必要と感じました。

特に最終日ですが「道の駅」での滞在時間が長すぎです。前回短すぎたとの意見があつて延長したとの説明でしたが適正な時間を考えて欲しいです。そして最終日が平日なら役

場を訪問して町のことを伺ったり今後の「友好都市交流事業」のあり方等の意見交換をしたらと思います。名勝の「龍泉洞」見物の他に岩泉町自慢の「水」あるいは「ヨーグルト」の製造工場の見学も取り入れたら良いと思います。

現在の行程では実現できないと思いますので帰りの新幹線の時間を遅らせたり買い物時間を減らしたりともっと岩泉町の職員・町民と交流できる時間をとってほしいと思います。

最後にこの事業は昭島市の職員が4人も随行してくれ、また町を良く知る方も参加していましたので初めてでも安心して参加できました。そしてまだ岩泉町を訪れていない市民が多く参加してもらえそうな内容に改善してほしいと思いました。

最後に私が個人的には行けそうにないと思っていた岩泉町訪問が実現できて大変感謝しております。

